

宝物殿再建
拜殿屋根修復

淨財勸募趣意書

能生白山神社

「秋葉神社・宝物殿」再建実行委員会

御浄財奉納のお願い

日頃より崇敬の念篤き皆様方、「のうまつり」をこよなく愛しておられる皆様方のご支援ご協力に對しまして、衷心より感謝申し上げます。遡ること一千年、平安時代の中ごろ白山神社が創建されました。これほどの神社が一地方の町に鎮座していることには、参拝したものの誰しも驚嘆するところがあります。加えて社叢全体が天然記念物の指定を受けており、本殿をはじめ重要文化財指定の社宝が数多伝えられてきていることも他に比類なき神社であります。境内地建築物は、過去には火災による損壊もありましたが、この度の災害は震災によるものでも防ぎようのないものであります。幸い、先般秋葉神社が皆様の御浄財によりすでに見事に再建されたところではありますが、引き続き宝物殿再建に取り組むこととなりました。指定文化財の関係からすでに国、県、市の補助も確定しておりますが、当事者負担分については皆様方の浄財御奉納にお願いしなければなりません。おりしも拝殿のかやぶき屋根の補修も緊急を要する状態になっており、あわせて皆様からの御浄財でまかなわさせていただきたいと切に願うわけであります。

宝物殿の再建について

先の宝物殿は昭和四十八年に尾山入山道の傍らに鉄筋コンクリート平屋だてで建設されました。古い時代からの信仰のあかしとして宝物の数々を将来に向けて御守りしていく必要性からでした。しかし、中越地震、中越沖地震と二度の震災により人が立ち入るに危険な建造物となってしまうに至りました。多くの参拝者を受け入れてきた施設であっただけに神社としては、強く再建を望んできたところでもあります。国の重要文化財である聖観音立像、重要民俗文化財である海上信仰資料をはじめとする文化財は、国、県、市の指定文化財であるという以上に白山神社の社宝として未来永劫御守していかねばならないものであります。

拝殿屋根の修復について

国指定文化財の御本殿は、随所に室町建築の粋を施した美しい建物です。それに比して、拝殿は、かやぶき屋根の豪壮な建造物として対照的です。特にかやぶき屋根の重量感あふれる見事な造形美はまことに素晴らしいものであります。多くのかやぶき建築が姿を消してしまった今では貴重な文化財となっております。年次計画で補修を積み重ねてきたところですが、それだけではまかないきれない状態になってしまいました。「グシ」とよばれる最上部の構造物がねじ曲がっていることややせ細って雨漏り寸前の部分が見られるようになってきたことから、やや大がかりな補修を迫られることとなったものであります。

白山神社宝物殿 完成予想図



展示・収蔵の様子 1

展示・収蔵の様子 2

